

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
大泉 早智子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	BS (社会人基礎)	110 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	ロジカルシンキングは異文化や言語の異なる相手に対して明確な説明をする場合や、ビジネスにも直結するスキルであり組織での協働におけるコミュニケーションにも必要である。本講義は、ロジカルシンキングの考え方と実践、そしてそのフレームワークであるミッシーアプローチやロジックツリーなど、さらに新しい価値を創造する発想法との関係、また問題解決力にも必要な論理的思考を学修する。そして、これらの学修を達成するために能動的な協働学習を取り入れ発信力も育成する。この科目はDP (ディプロマポリシー) に掲げられている「広い教養に基づいた創造的思考力と、課題解決力」を身に付けることを目的としている。
授業計画	<p>第1回 イントロダクション この講義の目標や進め方、評価方法、自己紹介を行う。 予習 (時間) : ロジカルシンキングについて事前にネットや図書館などで調べておく。(120) 復習 (時間) : 講義の進め方や目標について整理してワークシートにまとめる。(120)</p> <p>第2回 ロジカルシンキングの概要 論理的思考についてロジックとは、三角ロジック、演繹法と帰納法について理解する。 予習 (時間) : ロジック (論理) について事前に調べておく。(120) 復習 (時間) : 概要についてのワークシートを整理する。(120)</p> <p>第3回 主張の論拠と因果関係 論理的な主張とそれを立証する論拠と因果関係について理解する。 予習 (時間) : 自分自身の強みの主張について事前に考えて整理しておく。(120) 復習 (時間) : 自己PRについての論理的な主張をワークシートに整理する。(120)</p> <p>第4回 MECEアプローチ MECE (Mutually Exclusive, Collectively Exhaustive 「ミッシー」) アプローチについて理解する。 予習 (時間) : 自分の性格をもれなくリストアップしておく。(120) 復習 (時間) : 網羅と仕分けを使って自分の性格をミッシーにグルーピングしてワークシートに整理する。(120)</p> <p>第5回 So What?/Why So? So What?/Why So?の手法について理解する。 予習 (時間) : 自分のやりたい主張について、それはなぜか?なぜそう言えるのかを事前に整理する。(120) 復習 (時間) : ミッシーとSo What?/Why So? の構造についてワークシートに整理する。(120)</p> <p>第6回 ロジックツリー ロジックツリーについて理解する。 予習 (時間) : 物事を論理的に分析・検討する方法について事前に調べる (120) 復習 (時間) : 自分の強みをロジックツリーでワークシートに整理する。(120)</p> <p>第7回 ロジカルライティング ロジカルライティングについて理解する。 予習 (時間) : わかりやすい文章の書き方について気が付いたことを事前に整理する。(120) 復習 (時間) : 自分自身が学生時代に力を入れて取り組んだことを論理的にワークシートに記入する。(120)</p> <p>第8回 コミュニケーションと論理的思考 コミュニケーションに論理的思考を活用する方法を理解する。 予習 (時間) : コミュニケーションについて事前に調べておく。(120) 復習 (時間) : 学修した手法を使ってコミュニケーションを行いその結果をワークシートに記入する。(120)</p> <p>第9回 クリエイティブシンキングへの展開 クリエイティブシンキング (創造的思考) とロジカルシンキングの思考の重要性について理解する。 予習 (時間) : 自分自身が新しいことを考えてそれを論理的に主張する準備をする。(120) 復習 (時間) : 創造した事柄を論理的にワークシートに記入する。(120)</p> <p>第10回 ロジカルシンキングの発想法への展開 発想法のスキルには論理的に思考が不可欠であることを理解する。 予習 (時間) : 簡単な発想法を事前調べておく。(120) 復習 (時間) : いくつかの発想法を使ってワークシートに記入する。(120)</p> <p>第11回 問題解決の手法に必要な論理的思考 問題解決の手法について理解する。 予習 (時間) : 普段自分自身が抱えている問題を事前に整理しておく。(120) 復習 (時間) : 抱えている問題を解決する方法を論理的な方法でワークシートに記入する。(120)</p> <p>第12回 ロールプレイングによる実践① ロールプレイングによりロジカルシンキングの実践を行う。 予習 (時間) : 地域のニーズに沿った分野について調べておく。(120) 復習 (時間) : 協働の実践をロールプレイングで行ったことをワークシートに整理する。(120)</p> <p>第13回 ロールプレイングによる実践② ロールプレイングによりロジカルシンキングの実践を行う。 予習 (時間) : 地域のニーズに沿った前回以外の分野について調べておく。(120) 復習 (時間) : 協働の実践をロールプレイングで行ったことをワークシートに整理する。(120)</p>

	<p>第14回 ロールプレイングによる実践③ ロールプレイングによりロジカルシンキングの実践を行う。 予習（時間）：地域のニーズに沿った前回以外の分野について調べておく。（120） 復習（時間）：協働の実践をロールプレイングで行ったことをワークシートに整理する。（120）</p> <p>第15回 まとめ ロジカルシンキングについてのまとめを行い、この技法が地域や組織で協働するときに必要な知識であり新たな価値を創造していくためにも必要であることを理解する。 予習（時間）：地域や企業組織や持続可能な社会に必要なスキルについて調べておく。（120） 復習（時間）：将来に向けて将来ロジカルシンキングの活用を考える。（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（短期大学部）の次の項目を意識した科目になっている。 1. 基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力 2. 組織において協働できる能力 【身に付くスキル】思考力・課題解決力
到達目標	ロジカルシンキングのスキルを身に付けることが出来る。 論理的思考を応用して組織での問題解決の実践を行うことが出来る。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題やワークシートは確認して返却することによりフィードバックします。
履修上の注意	配布資料やワークシートを学修ポートフォリオとしてファイルすること。
成績評価の方法・基準	期末テスト50%、ポートフォリオ（パフォーマンスのルーブリック評価を含む）評価50%
教科書	特に指定しない
参考書・教材	【教材】プリントを配布する。 【参考書】日沖健（2019）『ワンランク上を目指すためのロジカルシンキングトレーニング77第6版』産業能率大学出版部、照屋華子・岡田恵子（2019）『ロジカル・シンキング 論理的な思考と構成のスキル第55版』東洋経済新報社
備考	講義科目/実務家教員
教員との連絡方法	講義終了後の時間帯のオフィスパワーを利用。